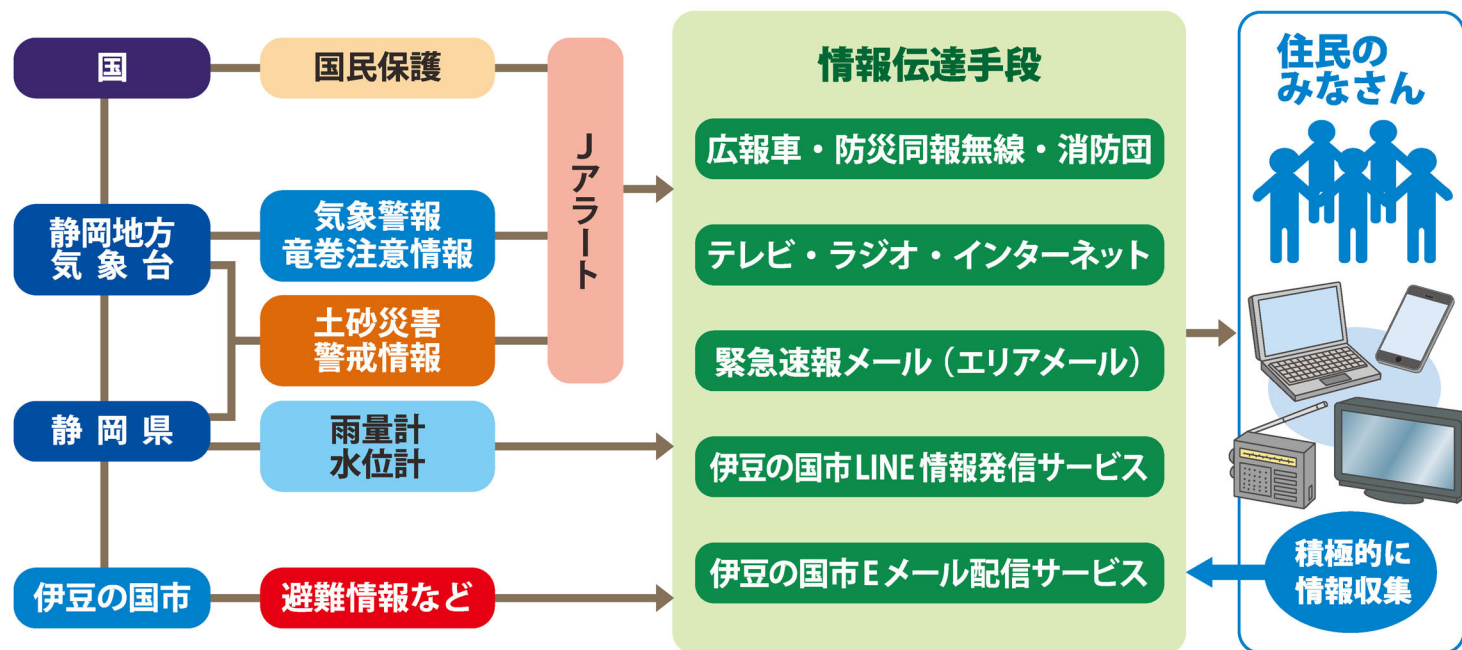


▶ 防災情報の流れ

気象情報や土砂災害情報、避難情報などの防災情報は、テレビ・ラジオ・インターネット・携帯電話・スマートフォン・防災行政無線などを通じて住民のみなさんに伝達されます。自らも積極的に情報収集をして、もしもの場合に備えましょう。



▶ 防災情報の入手方法

スマートフォン、パソコン

国土交通省「防災情報提供センター」

<https://www.mlit.go.jp/saiga/bosaijoho/i-index.html>

<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/> (パソコン)



静岡県「サイポスレーダー」

<http://sipos.shizuoka2.jp/m/i/index.cgi>

<http://sipos.pref.shizuoka.jp/> (パソコン)



気象庁「防災情報」

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>



気象庁「静岡地方気象台」

<https://www.jma-net.go.jp/shizuoka/>

静岡県総合防災アプリ「もしものために今! 緊急時に命を守る」



各種緊急情報の通知から、ハザードマップの確認、平時の防災学習や避難トレーニングまで、災害時に幅広く役立つ機能を備えています。

総合防災アプリのインストールはこちらから <https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/application.html>

伊豆の国市ホームページ Eメール配信サービス

災害時には伊豆の国市ホームページで避難情報や被害情報、交通情報など災害に関する情報をお知らせします。また、メール配信サービスでは、避難情報や気象警報などの情報を配信しています。ご利用には登録が必要です。登録方法は伊豆の国市ホームページでご確認ください。



同報無線電話確認サービス

市外局番 (055、0558、0557) の地域で、同報無線の放送内容を電話で聞くことができるサービスです。TEL. **0800-200-1219** (24時間・無料)

伊豆の国市公式LINEアカウント

「LINE」を活用し、同報無線の放送内容や防災・生活情報など情報発信サービスを行っています。



▶ 災害用伝言サービス

災害用伝言サービスには、災害用伝言ダイヤル「171」と災害用伝言板「web171」があり、伝言内容をお互いに確認することが可能です。「誰に」「どのように」連絡するか確認をしておきましょう。

また、体験利用提供日(毎月1日・15日・1/1~3・1/15~21・8/30~9/5)を利用して、確認をしておくことも安心につながります。

災害用伝言ダイヤル「171」

電話がつながりにくい状況になった場合に提供が開始される「声」の伝言板です。「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行ってください。



*あらかじめ、4桁の暗証番号を決めておくとう便利です。

災害用伝言板「web171」

インターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う「文字」の伝言板です。

インターネットでのお手続きはこちらから
Web171 <https://www.web171.jp>



緊急ダイヤル

警察 110
火事・救急 119
災害用伝言ダイヤル 171

▶ 避難生活の心得

自宅で避難生活をする場合

ポイント 比較的、環境の変化が少なく済む
自力で生活していくための備えが必要

ライフラインは備蓄品でまかなう

- 電気、ガス、水道がとまることがあります。
- 懐中電灯、電池、カセットコンロ、カセットボンベ、飲料水や生活用水を備蓄しておきましょう。



一番困ることはトイレの確保

- 自宅のトイレが機能しなくなることがあります。
- 簡易トイレやトイレ処理セットを備蓄しておきましょう。
- トイレを流す時は、風呂のため水を利用するとよいでしょう。



日ごろから備蓄品や体調管理を

- 災害時に備えて日ごろから備蓄をしましょう。
- ふだん使うものを多めに購入し、備蓄品としても使用できるようにするとよいでしょう。
- 手洗い・うがい、体温測定などを行い、体調管理をこころがけましょう。

避難所で生活する場合

ポイント 避難所は避難者による自主運営が基本
共同生活で体調を崩さないように注意

避難所は共同生活です

- 自治組織を作りましょう。
- 生活ルールを定めましょう。
- 係を決めて、役割を分担しましょう。
- お互いのプライバシーにも配慮しましょう。



衛生面に気を配りましょう

- 感染症予防のためにしっかりと衛生管理をし、ソーシャルディスタンスを確保しましょう。
- こまめな清掃、ゴミの適切な処理を心がけましょう。
- トイレをきれいに使いましょう。



健康管理には普段以上の注意を

避難所生活の長期化

▼
ストレス、体力低下

▼
体調不良

新型コロナウイルスなどのような感染症
エコノミークラス症候群